

# 流域に安心な暮らしをつくるために ～今ノ浦川総合内水対策計画 (H19-H30)～

平成30年度までに、平成16年11月洪水(時間雨量68mm、24時間雨量257mm:確率規模W=1/20相当)と同規模の集中豪雨が発生した際に、二之宮地区の**床上浸水の被害の解消**と今ノ浦川流域全体の**浸水被害の軽減**を図ります。

**事業完了**

## ソフト対策

浸水被害軽減対策として、防災情報を携帯端末へ配信する「いわたホットライン」サービスをはじめ、以下の多くの施策を実施しています。水害意識の啓発を行うため、ハザードマップを活用し、水害版図上訓練(R-DIG)を各自治会で実施していく他、水防活動の充実、地域参加型の川づくりなどを実施しています。

ソフト  
対策

### ハザードマップの作成、公表、周知

今ノ浦川流域では、浸水実績図および想定氾濫区域図を参考に、ハザードマップを作成し、配布しました。また、住民のみなさんに周知することが大切であるため、ハザードマップを活用し、R-DIG(水害版図上訓練)を各地で実施しています。

※R-DIGに関するお問い合わせは  
磐田市危機管理課 (TEL0538-37-4903)



平成27年に配布したハザードマップ

### ポンプ運転調整ルールを策定、運用

想定を上回る豪雨が発生し、河川の水位が高くなった時には、排水ポンプを運転し続けることにより堤防が決壊し、被害が増大することを回避するため、非常時におけるポンプの運転調整(運転の停止等)についてのルールづくりをしています。



### 市民のみなさんと協働して 事業を進めています。

市民との話し合いの場を大切にし、治水事業推進の協議会を設置しています。なお、磐田久保川流域治水協議会を毎年1回開催しております。



### 各戸での流出抑制 (浄化槽タンクの転用など)

地域のみなさんがそれぞれ少しずつ雨水を貯めることで河川への流出を抑制することができます。また、貯めた雨水を庭への散水などに利用することで節水にもなります。



雨水貯留タンク「ためるくん」

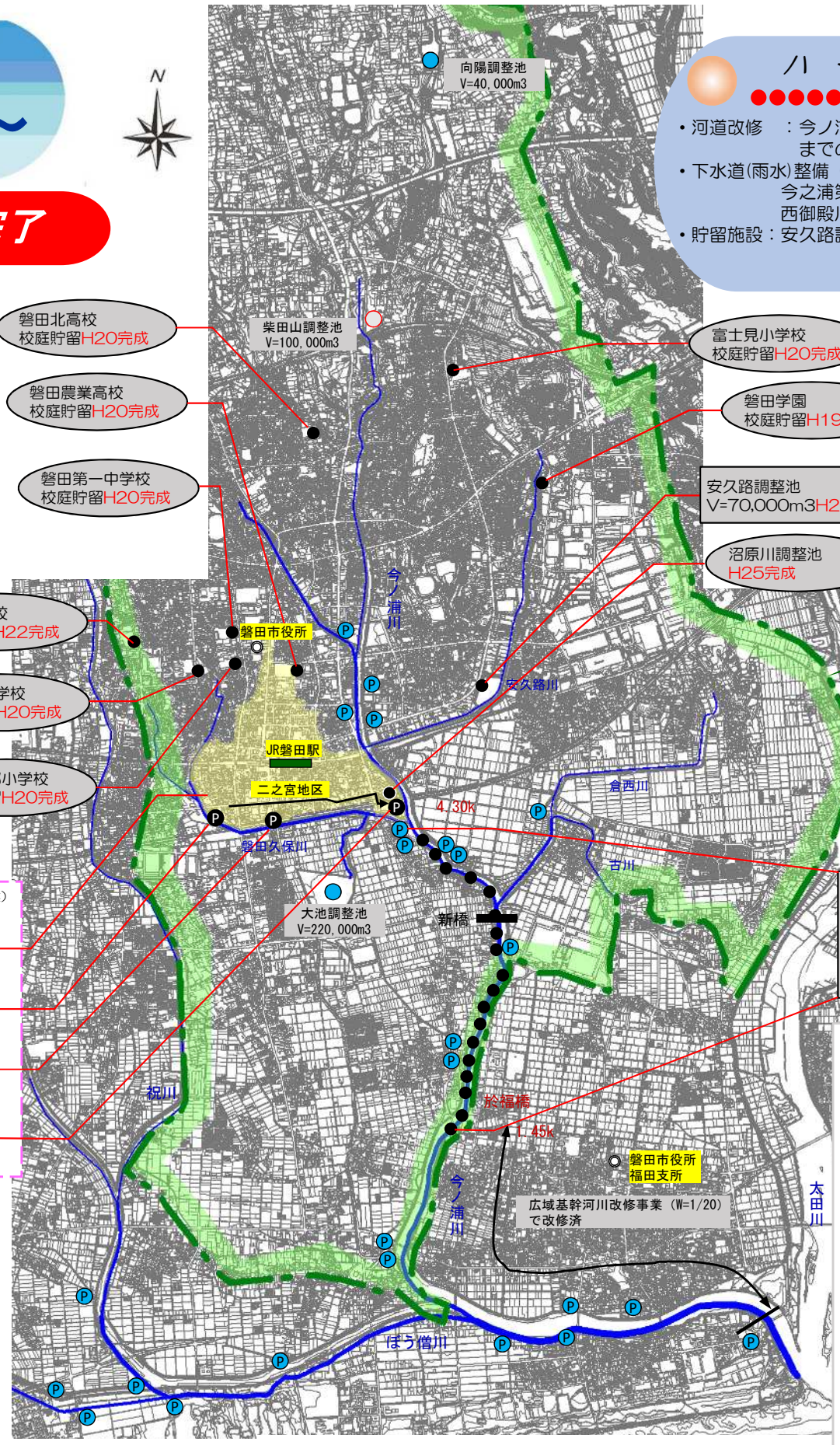
### いわたホットライン 災害情報を配信しています。



※いわたホットラインに関するお問い合わせは  
磐田市情報システム課 (TEL0538-37-4818)

### 下水道整備(下水道浸水被害軽減総合事業)

- 雨水幹線 L=1.44km H27完成
- 西御殿川排水ポンプ場 0.46m<sup>3</sup>/s H30完成
- 谷田川排水ポンプ場 0.99m<sup>3</sup>/s H29完成
- 今之浦第4ポンプ場 12.36m<sup>3</sup>/s H25完成



## ハード対策

- 河道改修 : 今ノ浦川1.45k~磐田久保川合流点(4.30k)までの改修
- 下水道(雨水)整備(ポンプ及び水路の新設) : 今之浦第4ポンプ場、谷田川排水ポンプ場、西御殿川排水ポンプ場、雨水幹線1.44km
- 貯留施設 : 安久路調整池 他9箇所 合計V=80,800m<sup>3</sup>



校庭貯留イメージ図  
注) 時間雨量68mm(確率規模W=1/20相当)の大雨時に30cm程度、雨水を一時的に貯留します。※校庭貯留8校および沼原川調整池は、貯留容量が少なく、今ノ浦川の水位低下効果は小さいが、周辺の浸水被害の軽減に効果があります。

凡 例	河道改修	下水道	ポンプ場	貯留地
既 設	●	→	●	●
整備済	●●●	→	●	●
整備中	●●●	→	●	●
未整備	●●●	→	●	●
本計画以外の計画予定	○			

## 今ノ浦川流域

【河道改修】H23完成  
L=2.85km  
・引堤  
・河道掘削  
・橋梁1橋  
・樋門樋管5基

### 今ノ浦川の河道状況



洪水を流下させるため、河道断面を大きく改修

【用語説明】  
流出抑制 : 雨を貯留または地面へ浸透させて、下流の河川の流量を減少させる行為です。  
調節池 : 大雨時に池へ雨水を貯留させて、下流の河川の流量を減少させます。  
校庭貯留 : 校庭の外周を少し高くするなど、大雨時に雨水を一時的に貯留します。  
ハザードマップ : 洪水時の破壊等による浸水情報と避難方法等に関する情報をわかりやすく示したものです。

この内水対策計画に関するお問い合わせやご意見は・・・

今ノ浦川流域総合内水対策協議会 静岡県袋井土木事務所 企画検査課・河川改良課  
静岡県・磐田市 TEL 0538-42-3289  
磐田市建設部道路河川課 TEL 0538-37-4993

## 二之宮地区の下水道事業の効果について

今ノ浦川流域では、平成10年9月洪水及び平成16年11月洪水で多大な被害が発生し、二之宮地区では、今ノ浦川総合内水対策事業において、同程度の集中豪雨が発生しても床上浸水が発生しないよう、今ノ浦川の河道改修やポンプ場・雨水幹線・貯留施設の整備を実施した。  
(平成31年3月末現在、ハード対策の整備は完了)

令和元年7月には下水道計画規模(68mm/h)を上回る77mm/hの洪水が発生し、磐田市全体では11戸の床下浸水被害が発生したが、二之宮地区では家屋被害は発生せず、下水道整備の効果が確認できた。

## 平成10年9月洪水・平成16年11月洪水の被害状況



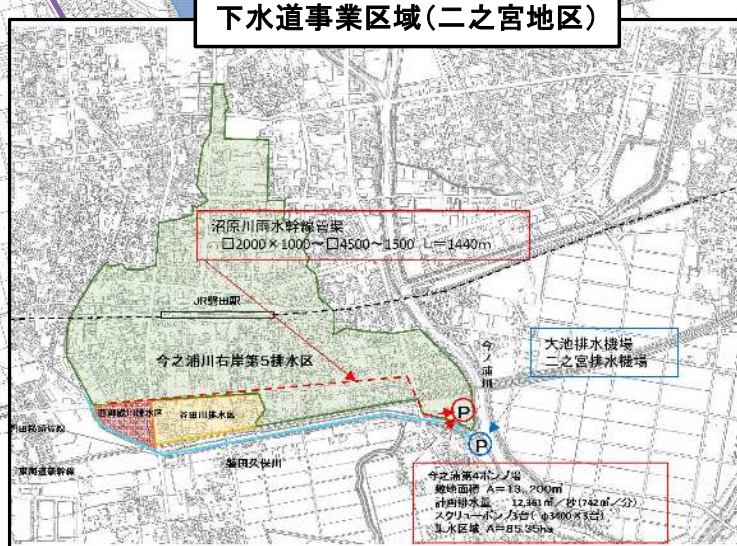
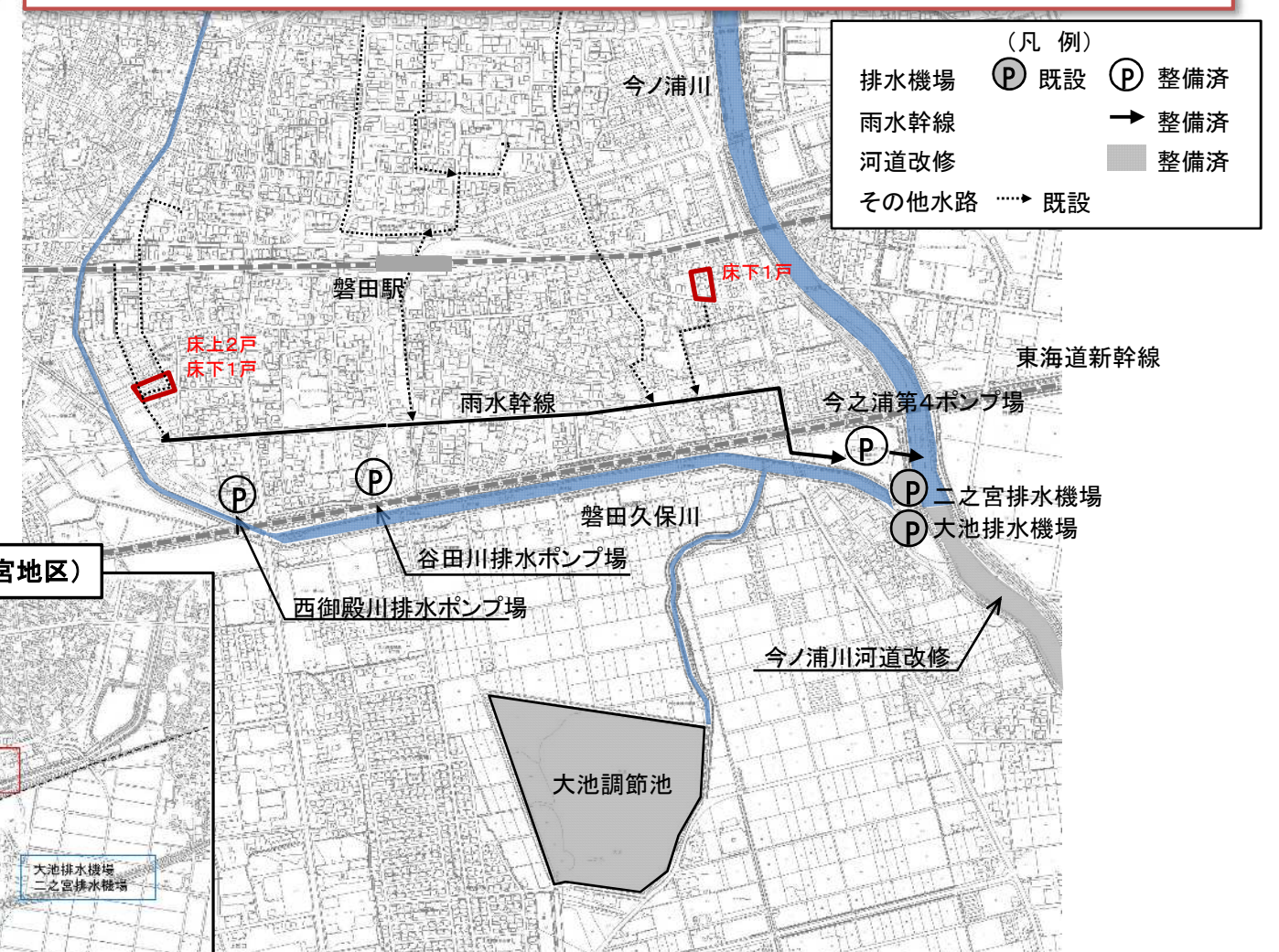
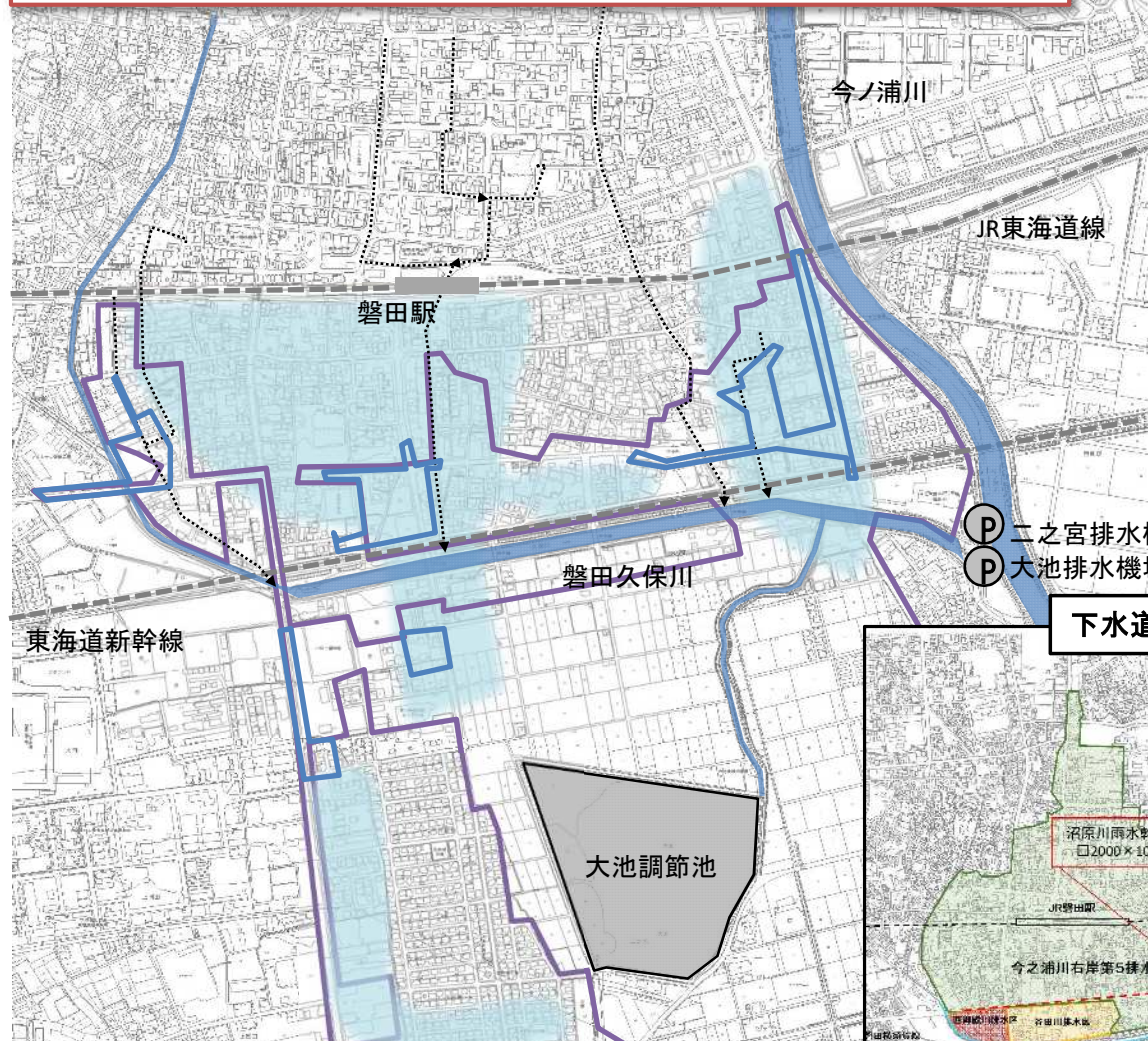
浸水状況(平成10年9月23日)



浸水状況(平成16年11月11-12日)

## 浸水実績(平成26年4月以前-ハード対策整備前)

## 浸水実績(平成26年4月以降-ハード対策完成後)



**<浸水実績>**

- 平成10年9月洪水(時間雨量63mm)
- 平成16年11月洪水(時間雨量68mm) **ハード対策整備前**
- 平成25年10月洪水(時間雨量43mm)
- 平成26年10月洪水(時間雨量38mm) **ハード対策完成後**

※R1.7洪水(梅雨前線)、R1.10洪水(台風19号)では二之宮地区に浸水被害なし

出水日	雨量(見付)			浸水被害(仿僧川流域)		浸水被害(二之宮)		備考
	時間最大	3時間	24時間	床上浸水	床下浸水	床上浸水	床下浸水	
H10.9.24	63	124	197	49	259	—	—	仿僧川流域総合的治水計画の対象洪水
H16.11.12	68	146	257	61	163	—	—	今ノ浦川総合内水対策の対象洪水
H25.10.25	43	113	255	4	13	4	13	
H26.10.6	38	84	219	3	26	2	2	
H27.9.8	30	65	203	0	1	0	0	
R1.7.22	77	125	141	0	9	0	0	下水道計画規模超過(市内全域で床下浸水11戸)
R1.10.12	35	75	233	1	0	0	0	台風19号